

平成31年3月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目次

I	平成31年度当初予算(案)総括表	1頁
II	有収水量と料金収入	2頁
III	水道事業会計	
1	平成31年度当初予算(案)総括表	3頁
2	平成31年度建設改良事業	5頁
IV	工業用水道事業会計	
1	平成31年度当初予算(案)総括表	15頁
2	平成31年度建設改良事業	17頁
V	公共下水道事業会計	
1	平成31年度当初予算(案)総括表	19頁
2	平成31年度建設改良事業	21頁
VI	その他	
1	富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に 関する条例の一部を改正する条例制定の件	38頁
2	富山市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を 定める条例の一部を改正する条例制定の件	39頁

I 平成31年度当初予算(案)総括表

(単位:千円)

		平成31年度①	平成30年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	7,871,651	7,792,457	79,194	1.02
		事業費用 B	7,366,700	7,296,561	70,139	0.96
		差引損益(税込) A-B	504,951	495,896	9,055	1.83
		純利益(税抜)	245,713	248,650	△ 2,937	△ 1.18
	資本的収支	資本の収入 C	1,998,356	2,088,127	△ 89,771	△ 4.30
		資本の支出 D	6,392,831	6,376,876	15,955	0.25
		差引収支(税込) C-D	△ 4,394,475	△ 4,288,749	△ 105,726	△ 2.47

(単位:千円)

		平成31年度①	平成30年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
工業用水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	478,099	473,717	4,382	0.93
		事業費用 B	343,751	331,423	12,328	3.72
		差引損益(税込) A-B	134,348	142,294	△ 7,946	△ 5.58
		純利益(税抜)	133,460	129,389	4,071	3.15
	資本的収支	資本の収入 C	10,001	10,008	△ 7	△ 0.07
		資本の支出 D	186,254	396,368	△ 210,114	△ 53.01
		差引収支(税込) C-D	△ 176,253	△ 386,360	210,107	54.38

(単位:千円)

		平成31年度①	平成30年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
公共下水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	16,975,046	17,118,204	△ 143,158	△ 0.84
		事業費用 B	14,821,115	15,108,334	△ 287,219	△ 1.90
		差引損益(税込) A-B	2,153,931	2,009,870	144,061	7.17
		純利益(税抜)	1,885,650	1,785,637	100,013	5.60
	資本的収支	資本の収入 C	7,915,971	7,912,340	3,631	0.05
		資本の支出 D	15,949,801	15,123,937	825,864	5.46
		差引収支(税込) C-D	△ 8,033,830	△ 7,211,597	△ 822,233	△ 11.40

II 有収水量と料金収入

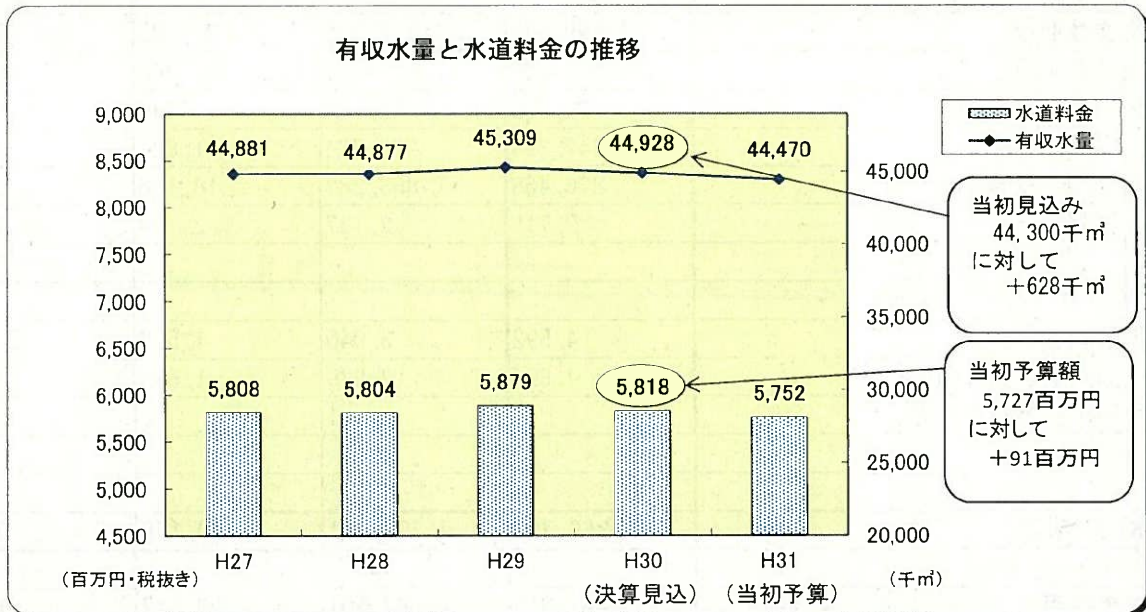
近年の水道の有収水量及び料金の動向については、人口減少や節水機器の普及などにより減少傾向が続いていたが、28年度以降の減少率は鈍化の傾向にある。(北陸新幹線の開業効果や節水機器の普及の落ち着きによるものなどが考えられ、29年度については、寒波の影響もあり増となった。)

また、下水道の有収水量と使用料については、水道と同様の減少要因があるものの、未接続世帯からの新たな接続などにより、横ばいの傾向にある。

30年度については、冬季の寒波や夏季の猛暑の影響などにより、水道と下水道ともに上半期において一時的に増となったため、当初予算は確保できる見通しであるが、31年度については、引き続き減少傾向が続くと思われるため、30年度決算見込額に対し、水道料金は1.1%減、下水道使用料は0.9%減を見込んだ。

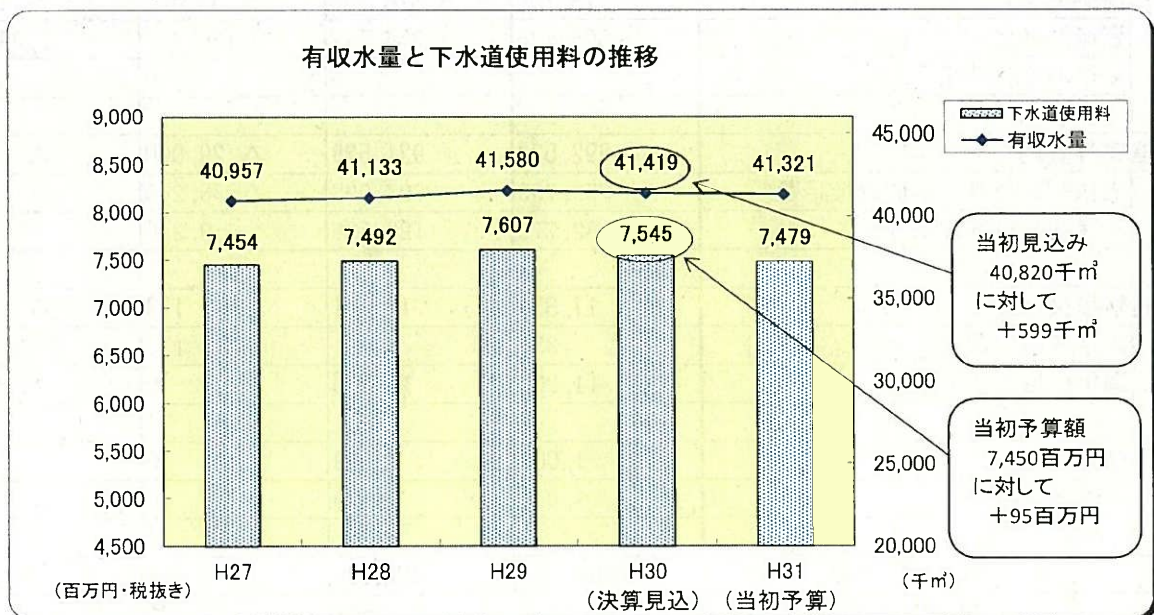
◇有収水量と水道料金の推移(平成30年度は決算見込、31年度は当初予算)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
有収水量(千 m^3)	44,881	44,877	45,309	44,928	44,470
対前年度比(%)	99.23	99.99	100.96	99.16	98.98
水道料金(税抜:千円)	5,808,408	5,803,736	5,879,233	5,817,930	5,752,000
対前年度比(%)	98.98	99.92	101.30	98.96	98.87



◇有収水量と下水道使用料の推移(平成30年度は決算見込、31年度は当初予算)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
有収水量(千 m^3)	40,957	41,133	41,580	41,419	41,321
対前年度比(%)	99.89	100.43	101.09	99.61	99.76
下水道使用料(税抜:千円)	7,453,857	7,491,685	7,607,177	7,545,445	7,479,000
対前年度比(%)	99.34	100.51	101.54	99.19	99.12



Ⅲ 水道事業会計

1 平成31年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目		平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
水道事業収益		7,871,651	7,792,457	79,194	1.02
営業収益		6,667,380	6,619,361	48,019	0.73
給水収益		6,250,398	6,185,637	64,761	1.05
受託工事収益		80,267	10,115	70,152	693.54
受託事業収益		567	549	18	3.28
その他営業収益		336,148	423,060	△ 86,912	△ 20.54
営業外収益		1,199,679	1,170,056	29,623	2.53
※ 受取利息		200	500	△ 300	△ 60.00
一般会計負担金		72,899	72,753	146	0.20
水道加入金		247,394	235,774	11,620	4.93
長期前受金戻入		876,468	858,282	18,186	2.12
雑収益		2,718	2,747	△ 29	△ 1.06
特別利益		4,592	3,040	1,552	51.05
固定資産売却益		4,591	3,039	1,552	51.07
過年度損益修正益		1	1	0	0.00
水道事業費		7,366,700	7,296,561	70,139	0.96
営業費用		6,461,613	6,362,301	99,312	1.56
原水及び浄水費		557,972	537,009	20,963	3.90
配水及び給水費		832,024	923,045	△ 91,021	△ 9.86
受託工事費		87,330	17,261	70,069	405.94
業務費		450,347	442,413	7,934	1.79
総係費		250,579	240,985	9,594	3.98
減価償却費		3,778,180	3,826,836	△ 48,656	△ 1.27
資産減耗費		505,176	374,747	130,429	34.80
その他営業費用		5	5	0	0.00
営業外費用		892,529	921,529	△ 29,000	△ 3.15
支払利息及び企業債取扱諸費		759,753	797,993	△ 38,240	△ 4.79
消費税及び地方消費税		132,776	123,536	9,240	7.48
特別損失		11,558	11,731	△ 173	△ 1.47
固定資産売却損		358	531	△ 173	△ 32.58
過年度損益修正損		11,200	11,200	0	0.00
予備費		1,000	1,000	0	0.00
予備費		1,000	1,000	0	0.00
差 引 損 益		504,951	495,896	9,055	1.83
(税抜純利益)		(245,713)	(248,650)	(△ 2,937)	

(2) 資本の収支

(単位：千円)

科 目	平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	1,998,356	2,088,127	△ 89,771	△ 4.30
企業債	1,538,000	1,630,800	△ 92,800	△ 5.69
企業債	1,538,000	1,630,800	△ 92,800	△ 5.69
他会計出資金	84,066	83,356	710	0.85
※ 他会計出資金	84,066	83,356	710	0.85
他会計負担金	19,359	19,089	270	1.41
他会計負担金	19,359	19,089	270	1.41
固定資産売却代金	6,997	5,017	1,980	39.47
固定資産売却代金	6,997	5,017	1,980	39.47
国庫補助金	277,330	256,758	20,572	8.01
国庫補助金	277,330	256,758	20,572	8.01
工事負担金	72,604	93,107	△ 20,503	△ 22.02
工事負担金	72,604	93,107	△ 20,503	△ 22.02
資本の支出	6,392,831	6,376,876	15,955	0.25
建設改良費	4,100,480	4,148,794	△ 48,314	△ 1.16
配水施設事務費	217,425	178,406	39,019	21.87
配水施設費	3,671,120	3,811,432	△ 140,312	△ 3.68
設備費	1,307	0	1,307	皆増
固定資産購入費	202,580	143,193	59,387	41.47
建設負担金	8,048	15,763	△ 7,715	△ 48.94
企業債償還金	2,292,351	2,228,082	64,269	2.88
企業債償還金	2,292,351	2,228,082	64,269	2.88
差 引	△ 4,394,475	△ 4,288,749	△ 105,726	△ 2.47

補てん財源	4,394,475	4,288,749	105,726	2.47
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	311,905	263,140	48,765	18.53
過年度分損益勘定留保資金	1,739,835	2,401,382	△ 661,547	△ 27.55
当年度分損益勘定留保資金	2,342,735	1,624,227	718,508	44.24

[参考]

	31年度①	30年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	156,965	156,109	856

2 平成31年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）			41億円
	I	水道施設の耐震化	2,540,456千円
		(1) 配水幹線の整備	1,005,455千円
		(2) 配水管網の整備	168,705千円
		(3) 老朽水道管の整備	1,240,009千円
		(4) 老朽基幹施設の改良	126,287千円
	II	危機管理体制の強化	633,759千円
		(1) 防災拠点機能の整備	633,759千円
	III	水源の水質向上	295,984千円
		(1) 配水ブロックの整備	295,984千円
	IV	その他	630,281千円
		(1) 他工事関連事業	210,321千円
		(2) 人件費、事務費等	419,960千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		平成31年度 当初予算①	平成30年度 当初予算②	比較増減①-②	
水道事業会計 (建設改良費)	I 水道施設の耐震化		2,540,456	2,758,675	△ 218,219
	(1) 配水幹線の整備	事業費	1,005,455	1,296,040	△ 290,585
		概要	・赤江幹線(更新)外 L=2.57Km ・横断実施設計(南部幹線) ・開削実施設計(北部幹線) ・空洞調査(赤江幹線、城南幹線)	・中部幹線(更新)外 L=3.86Km ・布設替実施設計(南部幹線)	
	(2) 配水管網の整備	事業費	168,705	214,335	△ 45,630
		概要	・管網整備 L=1.55Km	・管網整備 L=2.33Km	
	(3) 老朽水道管の整備	事業費	1,240,009	1,111,100	128,909
		概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=1.35Km ・老朽添架管更新実施設計外	・老朽ビニル管等の布設替 L=9.37Km ・老朽添架管の架替 L=0.16Km	
	(4) 老朽基幹施設の改良	事業費	126,287	137,200	△ 10,913
		概要	・東部第1・第2水源地の整備外	・東部第1・第2水源地の実施設計外 ・流杉浄水場コントロール盤更新	
	II 危機管理体制の強化		633,759	771,920	△ 138,161
	(1) 防災拠点機能の整備	事業費	633,759	771,920	△ 138,161
		概要	・防災拠点管路の整備 L=4.06Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	・防災拠点管路の整備 L=5.16Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	
	III 水源の水質向上		295,984	34,322	261,662
	(1) 配水ブロックの整備	事業費	295,984	34,322	261,662
		概要	・山田配水ブロックの整備 ・岩稲加圧場の実施設計	・山田配水ブロックの実施設計 ・細入配水ブロックの実施設計	
	IV その他		630,281	583,877	46,404
(1) 他工事関連事業	事業費	210,321	252,297	△ 41,976	
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=3.17Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=4.31Km		
(2) 人件費、事務費等	事業費	419,960	331,580	88,380	
	概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		4,100,480	4,148,794	△ 48,314	

I 水道施設の耐震化

(1) 配水幹線の整備

事業費 1,005,455 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新

- | | |
|-----------------------|------------|
| ・ 赤江幹線 城南幹線 南部幹線 | L = 2.57km |
| ・ 横断実施設計業務委託(南部幹線) | 1式 |
| ・ 開削実施設計業務委託(北部幹線) | 1式 |
| ・ 空洞調査業務委託(赤江幹線、城南幹線) | 1式 |

(2) 配水管網の整備

事業費 168,705 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、「強靱な水道施設の構築」の確保を図ります。
また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア)配水管網の整備

- | | |
|----------|-----------|
| ・ 配水管の新設 | 168,705千円 |
|----------|-----------|

L = 1.55km

(3) 老朽水道管の整備

事業費 1,240,009 千円

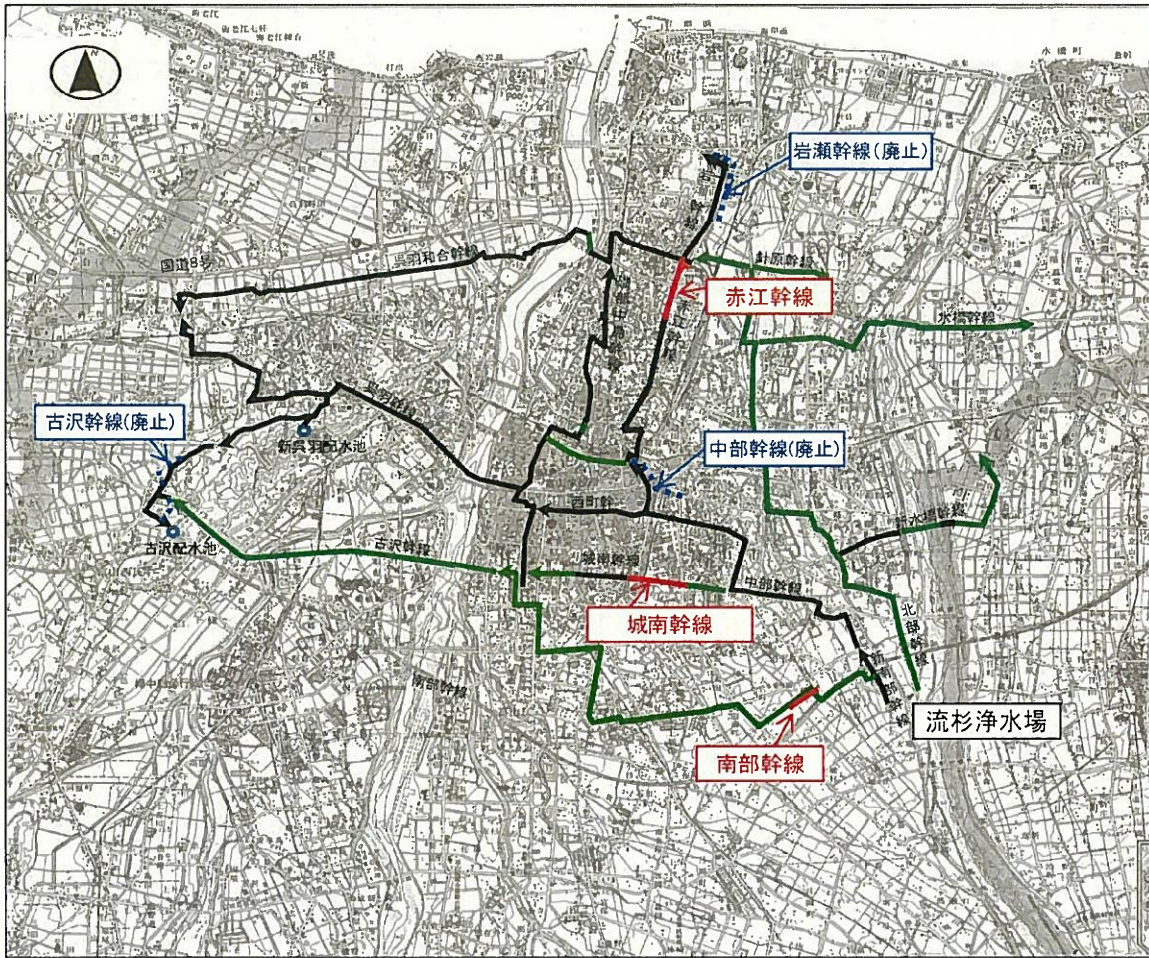
老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、「強靱な水道施設の構築」の確保を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備

- | | |
|----------------------|-------------|
| ①老朽ビニル管等の布設替 | 1,227,009千円 |
| ・ 老朽管布設替工事 | L = 11.35km |
| ②老朽添架管の架替 | 13,000千円 |
| ・ 添架管更新実施設計業務委託(黒牧橋) | 1式 |
| ・ 添架負担金(十三石橋) | 1式 |

平成31年度 配水幹線整備箇所図



凡例	
	平成30年度迄施工済区間
	平成31年度施工予定区間
	平成32年度以降施工予定区
	平成31年度廃止予定区間

配水幹線整備の推移

(第2次富山市総合計画)

	H27実績	H28実績	H29実績	H30見込	H31計画	H32計画	H33計画	H34計画	H35計画	H36計画	H37計画	H38計画
耐震管延長(km)	39.2	41.0	53.1	57.8	60.3	64.9	69.1	72.9	77.0	82.4	88.4	94.7
全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
耐震化率(%)	38.3%	40.1%	51.9%	56.5%	59.0%	63.4%	67.5%	71.3%	75.3%	80.5%	86.4%	92.6%

配水幹線の施工状況



(4) 老朽基幹施設の改良

事業費 126,287 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時代を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

平成31年度事業の概要

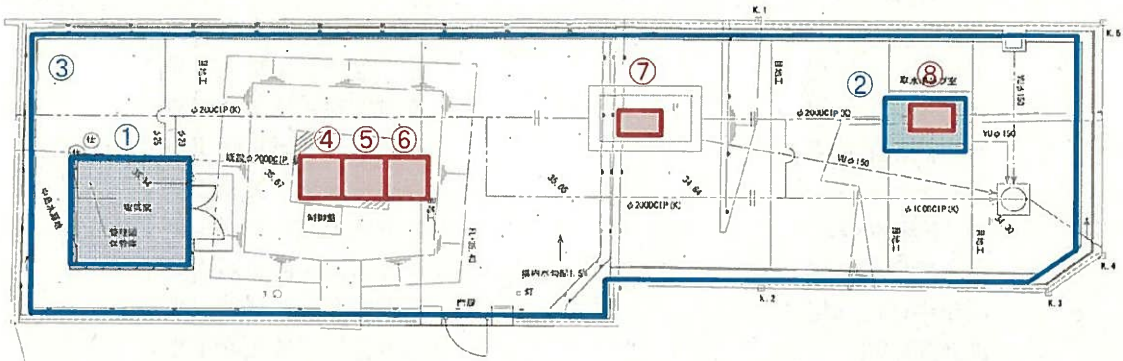
(ア)老朽基幹施設の更新		126,287千円
・ 東部第1・第2水源地施設(婦中地域)	場内整備工事 電気設備工事	
・ 羽根第2水源地施設(婦中地域)	更新実施設計	

東部第1水源地施設更新工事

(ア) 老朽基幹施設の更新



位置図



① 電気室解体	場内整備工事
② ポンプピット改良	
③ フェンス設置	
④ 水質計器盤	電気設備工事
⑤ 計装盤	
⑥ ポンプ制御盤	
⑦ 流量計	
⑧ 水位計	



全景



ポンプ制御盤、計装盤



ポンプピット

II 危機管理体制の強化

(1) 防災拠点機能の整備

事業費 633,759 千円

大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア) 防災拠点管路の整備 503,721千円

・ 給水拠点接続管耐震化工事(富山地域) L=4.06km

(イ) 遠方監視装置の更新 124,868千円

(八尾、婦中、山田地域:計14施設)

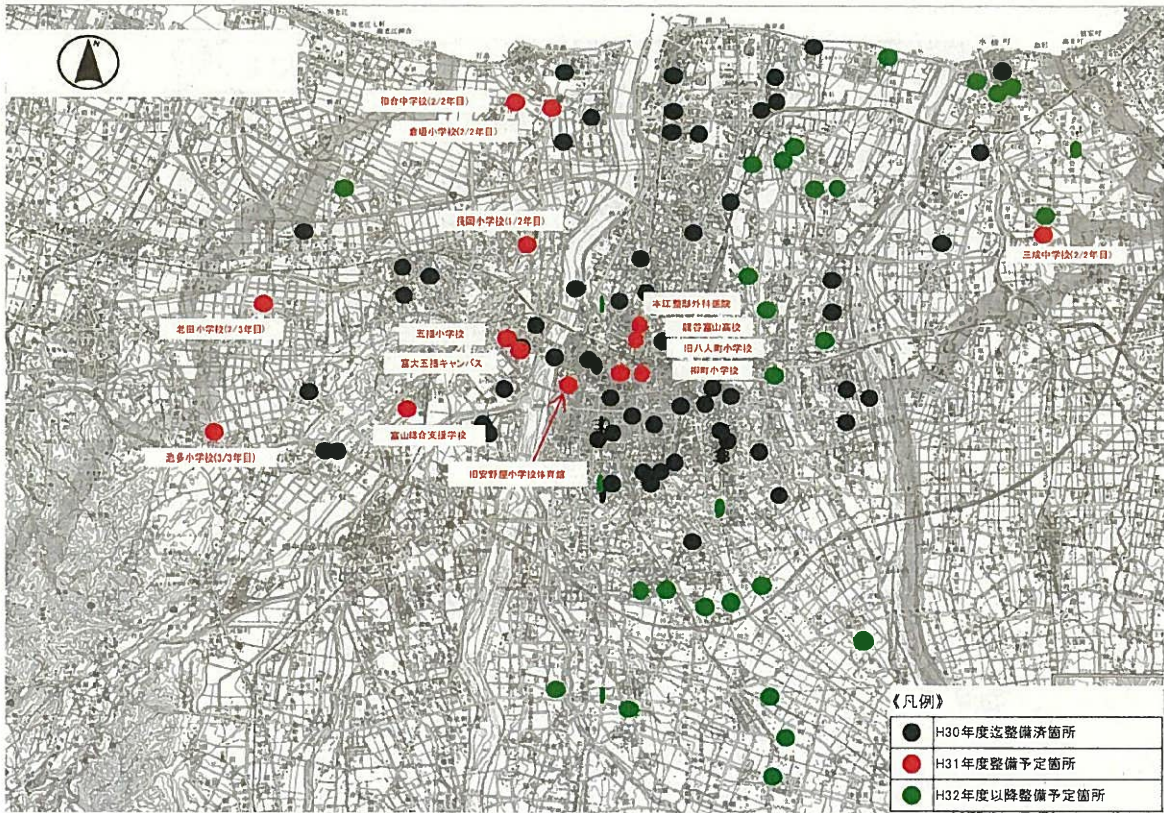
保内高区配水場	遠方監視装置更新工事
保内低区配水場	遠方監視装置更新工事
保内浄水場	遠方監視装置更新工事
蓮花寺中継場	遠方監視装置更新工事
音川低区配水場	遠方監視装置更新工事
音川中区配水場	遠方監視装置更新工事
音川高区配水場	遠方監視装置更新工事
西サービスセンター	遠方監視装置更新工事
中ノ瀬浄水場	遠方監視装置更新工事
山田低区配水場	遠方監視装置更新工事
山田中区配水場	遠方監視装置更新工事
沢蓮配水場	遠方監視装置更新工事
若土浄水場	遠方監視装置更新工事
若土水源地	遠方監視装置更新工事

(ウ) 応急給水用資材の購入 5,170千円

・ 応急給水用コンテナ等 1式

防災拠点機能の整備箇所図

(ア)防災拠点管路の整備



整備計画

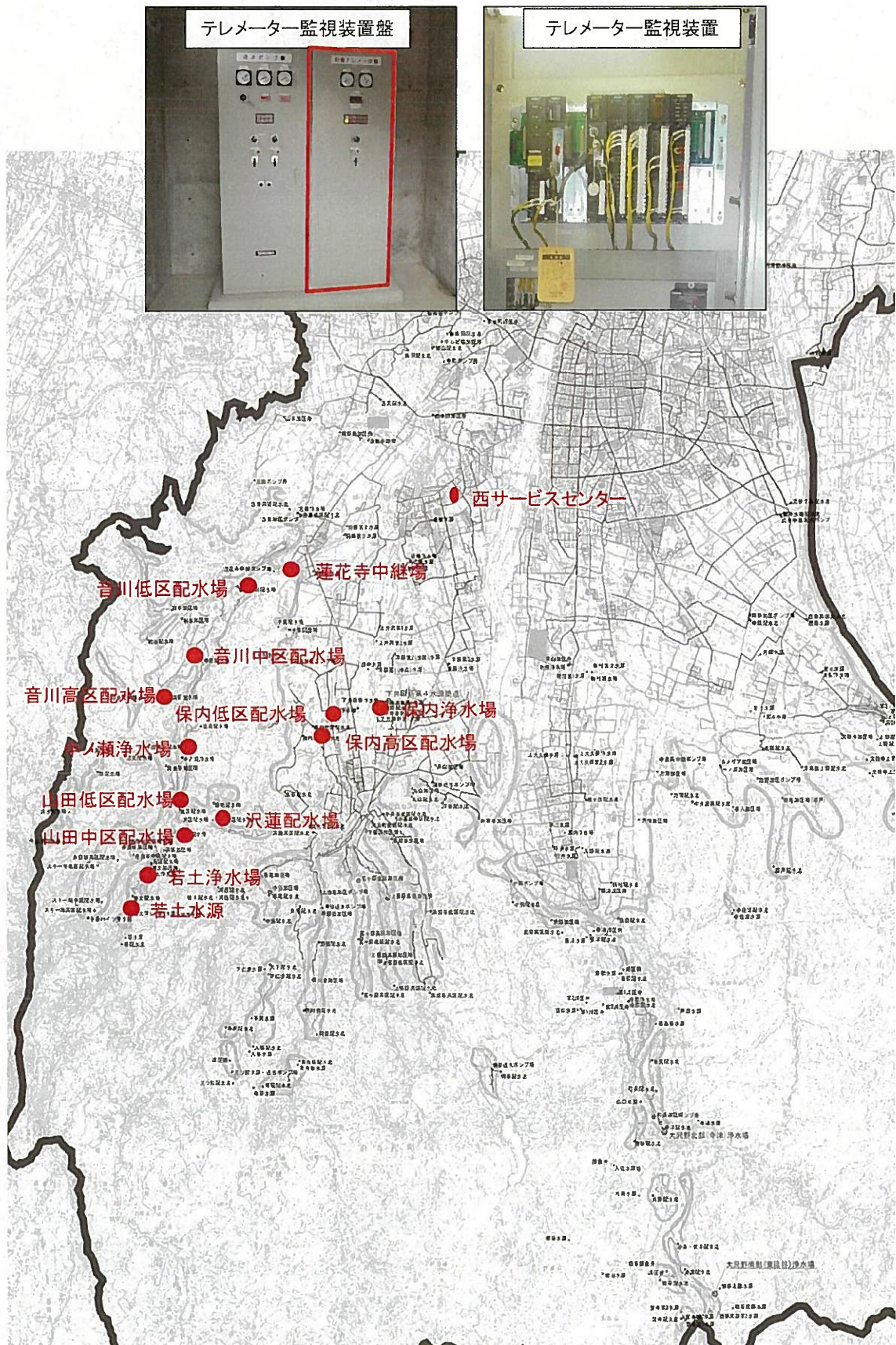
平成30年度迄	整備済箇所	64箇所
平成31年度	池多小学校(3/3年目)	12箇所
	富大五福キャンパス	
	五福小学校	
	富山総合支援学校	
	倉垣小学校(2/2年目)	
	和合中学校(2/2年目)	
	龍谷富山高校	
	本江整形外科医院	
	旧八人町小学校	
	柳町小学校	
平成32年度 ～平成38年度	旧安野屋小学校体育館	32箇所
	三成中学校(2/2年目)	
	老田小学校(2/3年目)	
	整備予定箇所	

合計
108箇所



防災拠点機能の整備箇所図

(イ) 遠方監視装置の更新



Ⅲ 水源の水質向上 (1) 配水ブロックの整備

事業費 295,984 千円

浄水方法や配水システムをもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア) 山田配水ブロックの整備

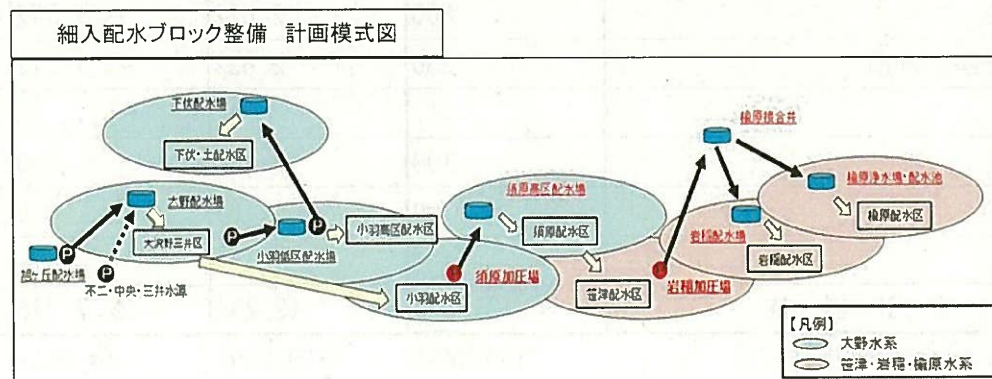
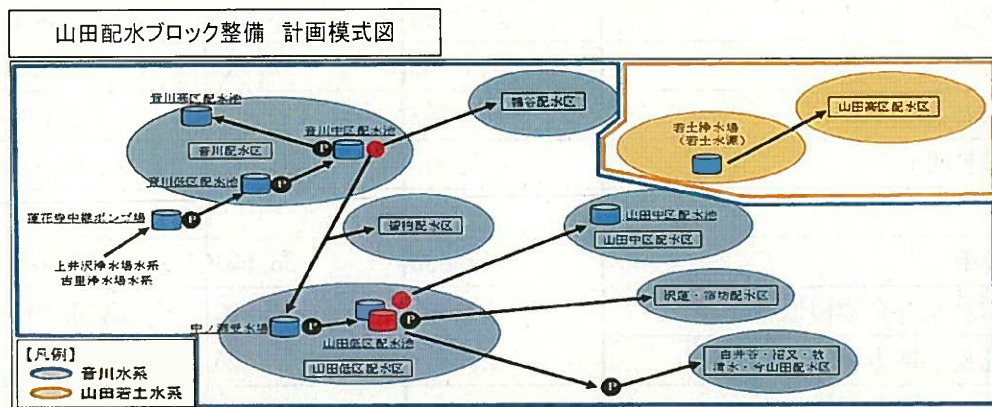
281,534千円

- ・ 音川中区配水場
 - 電気室改築工事
 - 場内配管工事
 - 場内整備工事
 - 機械設備工事
 - 電気設備工事
- ・ 山田低区配水場
 - 配水池改築工事
 - 場内配管工事
 - 場内整備工事
 - 機械設備工事
 - 電気設備工事

(イ) 細入配水ブロックの整備

14,450千円

- ・ 岩稲加圧場
 - 用地測量業務委託
 - 用地取得
 - 実施設計業務委託



Ⅳ 工業用水道事業会計

1 平成31年度当初予算(案)総括表

(1) 収益の収支

(単位：千円)

科 目	平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
工業用水道事業収益	478,099	473,717	4,382	0.93
営業収益	449,126	443,790	5,336	1.20
給水収益	449,126	443,790	5,336	1.20
営業外収益	28,973	29,273	△ 300	△ 1.02
受取利息	200	500	△ 300	△ 60.00
※ 一般会計負担金	120	120	0	0.00
長期前受金戻入	28,072	28,072	0	0.00
雑収益	581	581	0	0.00
特別利益	0	654	△ 654	皆減
その他特別利益	0	654	△ 654	皆減
工業用水道事業費	343,751	331,423	12,328	3.72
営業費用	298,945	295,170	3,775	1.28
取配水費	141,654	118,263	23,391	19.78
業務費	13,739	13,340	399	2.99
減価償却費	136,603	130,414	6,189	4.75
資産減耗費	6,949	33,153	△ 26,204	△ 79.04
営業外費用	43,856	33,531	10,325	30.79
支払利息及び企業債取扱諸費	18,399	21,803	△ 3,404	△ 15.61
消費税及び地方消費税	25,457	11,728	13,729	117.06
特別損失	850	2,622	△ 1,772	△ 67.58
固定資産売却損	850	2,622	△ 1,772	△ 67.58
予備費	100	100	0	0.00
予備費	100	100	0	0.00
差 引 損 益	134,348	142,294	△ 7,946	△ 5.58
(税抜純利益)	(133,460)	(129,389)	(4,071)	

(2) 資本的収支

(単位：千円)

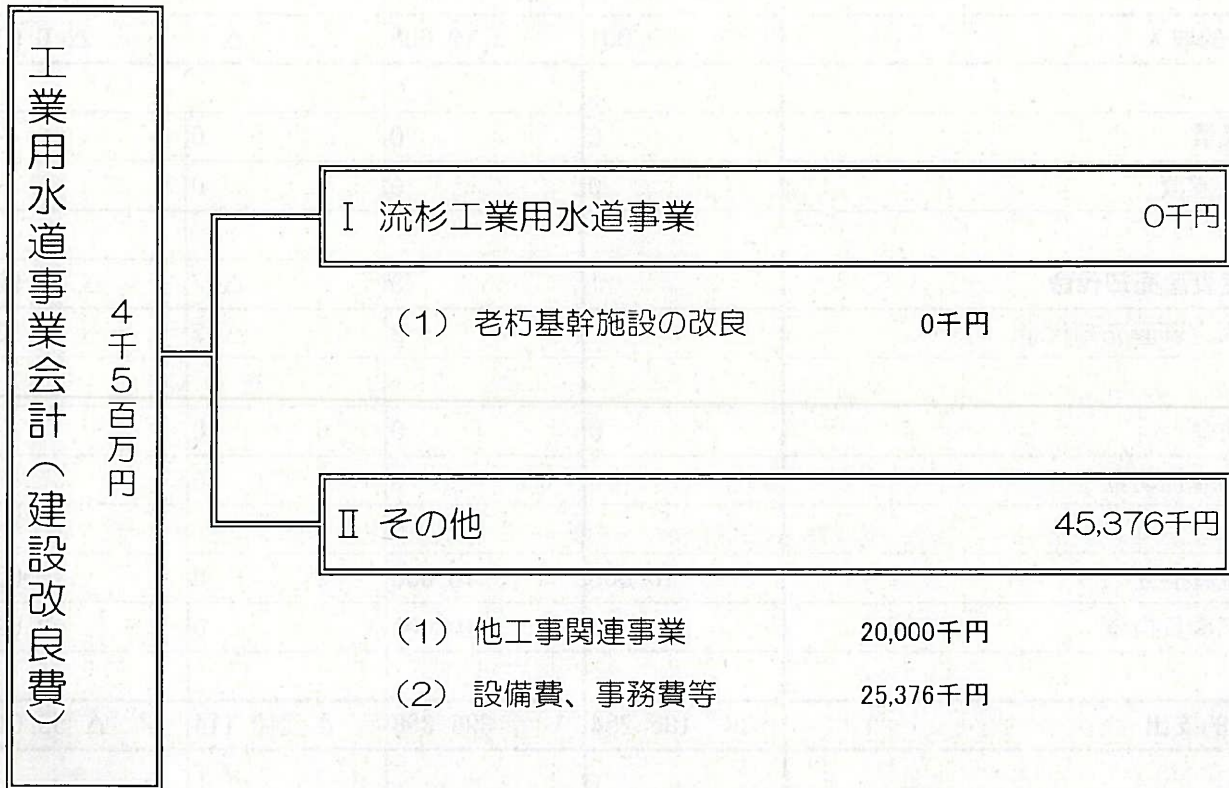
科 目	平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本的収入	10,001	10,008	△ 7	△ 0.07
企業債	0	0	0	—
企業債	0	0	0	—
固定資産売却代金	1	8	△ 7	△ 87.50
固定資産売却代金	1	8	△ 7	△ 87.50
補助金	0	0	0	—
国庫補助金	0	0	0	—
工事負担金	10,000	10,000	0	0.00
工事負担金	10,000	10,000	0	0.00
資本的支出	186,254	396,368	△ 210,114	△ 53.01
建設改良費	45,376	260,353	△ 214,977	△ 82.57
設備費	25,376	32,453	△ 7,077	△ 21.81
取配水施設費	20,000	227,900	△ 207,900	△ 91.22
企業債償還金	140,878	136,015	4,863	3.58
企業債償還金	140,878	136,015	4,863	3.58
差 引	△ 176,253	△ 386,360	210,107	54.38

補てん財源	176,253	386,360	△ 210,107	△ 54.38
減債積立金の取崩	140,878	136,015	4,863	3.58
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	3,038	18,395	△ 15,357	△ 83.48
過年度分損益勘定留保資金	32,337	231,950	△ 199,613	△ 86.06

〔参考〕

	31年度①	30年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	120	120	0

2 平成31年度 建設改良事業



【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		平成31年度 当初予算①	平成30年度 当初予算②	比較増減①-②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	I 流杉工業用水道事業				
	(1) 老朽基幹施設の改良	事業費	0	117,500	△ 117,500
		概要		・流杉浄水場コントロール盤更新	
	II その他				
	(1) 他工事関連事業	事業費	20,000	110,400	△ 90,400
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.05Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.29Km	
(2) 設備費、事務費等	事業費	25,376	32,453	△ 7,077	
	概要	・固定資産購入費、事務費等	・固定資産購入費、事務費等		
建設改良費 合計		45,376	260,353	△ 214,977	

余 白

V 公共下水道事業会計

1 平成31年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算(案)②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
下水道事業収益	16,975,046	17,118,204	△ 143,158	△ 0.84
営業収益	12,066,086	12,011,088	54,998	0.46
※ 下水道収益	8,126,531	8,046,000	80,531	1.00
※ 一般会計負担金	3,598,602	3,724,225	△ 125,623	△ 3.37
※ 受託事業収益	223,698	221,580	2,118	0.96
※ その他営業収益	117,255	19,283	97,972	508.07
営業外収益	4,908,946	5,102,832	△ 193,886	△ 3.80
※ 受取利息	100	100	0	0.00
※ 一般会計負担金	1,509,037	1,619,649	△ 110,612	△ 6.83
※ 一般会計補助金	86,774	87,286	△ 512	△ 0.59
※ 国庫補助金	10,000	0	10,000	皆増
※ 長期前受金戻入	3,286,639	3,348,791	△ 62,152	△ 1.86
※ 雑収益	16,396	47,006	△ 30,610	△ 65.12
特別利益	14	4,284	△ 4,270	△ 99.67
※ 固定資産売却益	14	4,284	△ 4,270	△ 99.67
下水道事業費	14,821,115	15,108,334	△ 287,219	△ 1.90
営業費用	12,392,870	12,446,482	△ 53,612	△ 0.43
※ 管渠費	258,224	348,199	△ 89,975	△ 25.84
※ ポンプ場費	255,450	221,264	34,186	15.45
※ 浜黒崎浄化センター費	1,186,774	1,140,652	46,122	4.04
※ 倉垣浄水園費	50,431	52,690	△ 2,259	△ 4.29
※ 水橋浄化センター費	169,361	157,337	12,024	7.64
※ 大沢野浄化センター費	120,387	113,317	7,070	6.24
※ 大山処理場費	63,298	61,068	2,230	3.65
※ 小見浄化センター費	15,553	20,281	△ 4,728	△ 23.31
※ 山田浄化センター費	16,965	16,555	410	2.48
※ 楡原浄化センター費	12,577	9,877	2,700	27.34
※ 南部地区浄化センター費	11,925	11,990	△ 65	△ 0.54
※ 流域下水道管理費負担金	817,269	790,483	26,786	3.39
※ 水洗化促進費	25,603	25,364	239	0.94
※ 排水設備指導費	30,547	28,750	1,797	6.25
※ 業務費	228,781	226,487	2,294	1.01
※ 総係費	173,168	144,308	28,860	20.00
※ 減価償却費	8,656,421	8,784,902	△ 128,481	△ 1.46
※ 資産減耗費	75,236	71,870	3,366	4.68
※ 地域し尿処理施設費	9,870	10,427	△ 557	△ 5.34
※ 農業集落排水事業費	212,263	207,935	4,328	2.08
※ 林業集落排水事業費	1,667	1,646	21	1.28
※ 富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,080	20	1.85
営業外費用	2,411,245	2,644,800	△ 233,555	△ 8.83
※ 支払利息及び企業債取扱諸費	2,179,530	2,399,303	△ 219,773	△ 9.16
※ 消費税及び地方消費税	229,715	243,297	△ 13,582	△ 5.58
※ 雑支出	2,000	2,200	△ 200	△ 9.09
特別損失	16,000	16,052	△ 52	△ 0.32
※ 固定資産売却損	0	52	△ 52	皆減
※ 過年度損益修正損	16,000	16,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
※ 予備費	1,000	1,000	0	0.00
差引損益	2,153,931	2,009,870	144,061	7.17
(税抜純利益)	(1,885,650)	(1,785,637)	(100,013)	

(2) 資本の収支

科 目	平成31年度 当初予算(案)①	平成30年度 当初予算(案)②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	7,915,971	7,912,340	3,631	0.05
企業債	4,103,712	4,016,700	87,012	2.17
企業債	3,295,900	3,016,700	279,200	9.26
資本費平準化債	0	1,000,000	△ 1,000,000	皆減
借換債	807,812	0	807,812	皆増
国庫補助金	1,791,900	1,975,500	△ 183,600	△ 9.29
国庫補助金	1,791,900	1,975,500	△ 183,600	△ 9.29
他会計出資金	1,794,209	1,755,840	38,369	2.19
※ 他会計出資金	1,794,209	1,755,840	38,369	2.19
負担金及び分担金	221,627	160,028	61,599	38.49
工事負担金	121,940	56,000	65,940	117.75
下水道整備負担金	99,687	104,028	△ 4,341	△ 4.17
貸付金返還金	4,492	4,210	282	6.70
貸付金返還金	4,492	4,210	282	6.70
固定資産売却代金	31	62	△ 31	△ 50.00
固定資産売却代金	31	62	△ 31	△ 50.00
資本の支出	15,949,801	15,123,937	825,864	5.46
建設改良費	5,816,215	5,610,224	205,991	3.67
公共下水道築造事務費	174,035	152,969	21,066	13.77
公共下水道築造費	4,158,200	4,466,000	△ 307,800	△ 6.89
流域関連公共下水道築造事務費	8,816	6,468	2,348	36.30
流域関連公共下水道築造費	133,000	113,000	20,000	17.70
特定環境保全公共下水道築造事務費	7,286	10,508	△ 3,222	△ 30.66
特定環境保全公共下水道築造費	385,000	261,000	124,000	47.51
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	5,041	5,039	2	0.04
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	128,000	88,000	40,000	45.45
単独改良費	416,200	80,000	336,200	420.25
受益者負担金徴収事務費	15,739	15,423	316	2.05
固定資産購入費	99,398	93,317	6,081	6.52
建設負担金	285,500	318,500	△ 33,000	△ 10.36
企業債償還金	10,123,586	9,498,713	624,873	6.58
企業債償還金	9,315,774	9,498,713	△ 182,939	△ 1.93
企業債償還金(一括償還分)	807,812	0	807,812	皆増
投資	10,000	15,000	△ 5,000	△ 33.33
長期貸付金	10,000	15,000	△ 5,000	△ 33.33
差 引	△ 8,033,830	△ 7,211,597	△ 822,233	△ 11.40

補てん財源	8,033,830	7,211,597	822,233	11.40
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	268,281	224,233	44,048	19.64
過年度分損益勘定留保資金	861,871	1,059,953	△ 198,082	△ 18.69
当年度分損益勘定留保資金	6,903,678	5,927,411	976,267	16.47

〔参考〕

	平成31年度①	平成30年度①	差引(①-②)
※一般会計繰入金	6,988,622	7,187,000	△ 198,378

2 平成31年度建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費） 58億1千6百万円	I 公共下水道（汚水）の整備 3,241,200千円	
	（1）下水道施設（管渠）の改築	1,422,000千円
	（2）下水道施設（処理場）の改築	1,283,200千円
	（3）資源の循環	26,000千円
	（4）処理場の統廃合と再編	72,000千円
	（5）下水道整備困難地区の解消	438,000千円
	II 公共下水道（雨水）の整備 1,321,000千円	
	（1）雨水幹線の整備	651,000千円
	（2）合流式下水道の改善	670,000千円
	III 危機管理体制の強化 527,000千円	
	（1）防災対策の強化（地震対策）	527,000千円
	IV その他 727,015千円	
	（1）他工事関連事業	416,200千円
	（2）人件費、事務費等	310,815千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		平成31年度 当初予算①	平成30年度 当初予算②	比較増減 ①-②	
I 公共下水道(汚水)の整備		3,241,200	3,786,000	△ 544,800	
(1) 下水道施設(管渠)の改築	事業費	1,422,000	1,447,000	△ 25,000	
	概要	改築延長L=6,200m(藤の木台、水橋市江、大泉町一丁目、城北町、中田一丁目、古志町一丁目外)	改築延長L=5,000m(八人町、牛島本町二丁目、水橋館町、綾田町一丁目、岩瀬諏訪町、晴海台外)		
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	事業費	1,283,200	1,725,000	△ 441,800
	浜黒崎浄化センター	事業費	78,000	818,000	△ 740,000
		概要	No.2井戸ポンプ電気設備改築工事、汚泥処理施設ストックマネジメント計画策定業務、汚泥処理施設実施設計業務	沈砂池搬出設備改築工事、No.3汚水ポンプ改築工事、汚水処理施設改築調査・計画策定業務	
	その他処理場	事業費	225,200	109,000	116,200
		概要	大山水処理場; 受変電・自家発電設備改築工事、汚泥貯留装置外機械設備改築工事、ストックマネジメント計画作成(調査)業務	水橋浄化センター; 水橋浄化センター外設備台帳システム構築業務 大山水処理場; 受変電・自家発電設備改築工事、消化タンク加温設備外改築工事	
	ポンプ場	事業費	695,000	480,000	215,000
概要		岩瀬汚水中継ポンプ場改築	岩瀬汚水中継ポンプ場改築		
神左流域下水道建設負担金		285,000	318,000	△ 33,000	
(3) 資源の循環	事業費	26,000	11,000	15,000	
	概要	下水熱導入実施設計業務	下水熱導入基本設計業務		
(4) 処理場の統廃合と再編	事業費	72,000	12,000	60,000	
	概要	月岡処理分区分上干俵町地区管渠築造工事PEφ200 L=700m、倉垣処理区管渠実施設計業務	大沢野浄化センター外施設統合基礎検討業務、月岡処理分区分管渠実施設計業務		
(5) 下水道整備困難地区の解消	事業費	438,000	591,000	△ 153,000	
	概要	新設延長L=1,700m(那智町外)公共樹設置(婦中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=2,330m(水落、布市新町外)公共樹設置(婦中、八尾、大沢野地域)		
II 公共下水道(雨水)の整備		1,321,000	1,040,000	281,000	
(1) 雨水幹線の整備	事業費	651,000	585,000	66,000	
	概要	雨水幹線:L=330m 調整池:1箇所	雨水幹線:L=379m 調整池:2箇所		
(2) 合流式下水道の改善	事業費	670,000	455,000	215,000	
	概要	管渠改築(浸水対策):L=1,150m	管渠改築(浸水対策):L=880m		
III 危機管理体制の強化		527,000	420,000	107,000	
(1) 防災対策の強化(地震対策)	事業費	527,000	420,000	107,000	
	概要	耐震化工事 下水道処理場耐震診断業務	耐震化工事 下水道幹線管路耐震化診断業務		
IV その他		727,015	364,224	362,791	
(1) 他工事関連事業	事業費	416,200	80,000	336,200	
	概要	物件移転補償に伴う布設替	物件移転補償に伴う布設替		
(2) 人件費、事務費等	事業費	310,815	284,224	26,591	
	概要	人件費、事務費、固定資産購入費等	人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		5,816,215	5,610,224	205,991	

公共下水道事業会計(建設改良費)

I 公共下水道(汚水)の整備

(1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費	1,422,000 千円
(うち補助事業)	871,000 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めていきます。

平成31年度事業の概要

(ア)下水道管の改築

	H29年度(実績)	H30年度(見込)	H31年度
調査・計画延長	約61km	約50km	約50km
改築工事延長	2.20km	7.20km	6.20km

①調査・計画

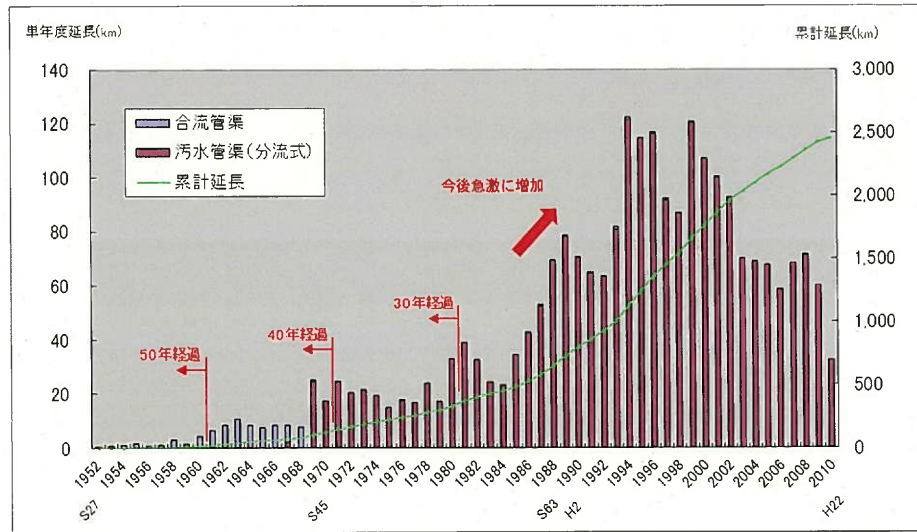
富山市下水道管路ストックマネジメント計画に基づき、松川処理分区外の管渠を対象に調査を実施。

②改築工事

平成30年度に引き続き、いたち川第二、第四処理分区、水橋第二処理分区、豊田処理分区及び、新規で向新庄処理分区を対象に老朽化が著しく、改築の緊急度が高い管の改築工事を実施。

老朽下水道管対策事業

1. 富山市の下水道管路布設年度



	～51年	50年～41年	40年～31年	31年以上計	21年～30年	11年～20年	1年～10年	合計
合流管渠	14.6	64.8	0.5	79.9	1.9	4.0	1.4	87.2
污水管渠(分流式)	0.0	43.9	207.2	251.1	464.0	965.8	687.2	2,368.1
富山市合計	14.6	108.7	207.7	331.0	465.9	969.8	688.6	2,455.3
累計延長	14.6	123.3	331.0	-	796.9	1,766.7	2,455.3	-
累計割合	0.6%	5.0%	13.5%	-	32.5%	72.0%	100.0%	-

2. 今後の老朽下水道管対策の進め方

1) 合流式下水道区域

中心市街地の「浸水対策事業」と「下水道ストックマネジメント支援制度」の両方で補助採択を受け、耐震化も含めた老朽管の改築を進めていく。

2) 分流式下水道区域

下水道管は布設経過年数30年頃から道路陥没の頻度が高まる。よって対策事業は、30年以上経過した管から「下水道長寿命化支援制度」および「下水道ストックマネジメント支援制度」を活用し、テレビカメラ調査により管の劣化状況を確認し改築実施計画を策定し、補助採択を受け劣化状況の著しい老朽管路の改築を耐震化も踏まえ進めていく。

3. 今後の分流式下水道区域の調査及び計画・工事予定

平成29年までに布設経過年数30年経過した下水道管約250km(平成22年末時点)の調査を完了。平成30年からは富山市ストックマネジメント計画に基づき、布設経過年数や管種による劣化の進み具合に加え、機能不全に陥った場合の社会的影響度を考慮し、重要と判断された下水道管より調査を行う。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	計
調査・点検											
延長(KM)	3.7	19.0	22.5	49.0	34.2	24.8	58.4	60.9	50.0	50.0	-
事業費(百万円)	14	74	62	137	105	73	191	178	188	229	-
累計延長(KM)	3.7	22.8	45.3	94.3	128.5	153.3	211.7	272.6	322.6	372.6	(272.6) 372.6
累計事業費(百万円)	14	88	150	283	388	461	652	830	1,018	1,247	(830) 1,247
工事設計・補償金											
延長(KM)	0	0	0.8	1.9	1.7	1.6	2.4	2.2	7.2	6.2	-
事業費(百万円)	0	0	94	235	261	335	402	617	1,239	1,110	-
累計延長(KM)	0.0	0.0	0.8	2.7	4.3	5.9	8.3	10.5	17.7	23.9	23.9
累計事業費(百万円)	0	0	94	329	590	925	1,327	1,944	3,183	4,293	4,293
全体事業費											
老朽管事業費(百万円)	14	74	156	368	366	408	593	795	1,427	1,339	-
累計(百万円)	14	88	244	612	978	1,386	1,979	2,774	4,201	5,540	5,540

4. 施工実績

調査・計画

調査年度	処理区分及び団地名	調査延長(km)	緊急度 I II 延長(km)	緊急度 I II 割合
H22	浜島崎処理区分(田畑新町)	3.7	0.5	13.0%
H23	熊野処理区分(若竹町)	5.1	4.3	84.9%
H23	水橋第1処理区分(水橋花の井町)	2.4	1.5	61.5%
H23	豊田処理区分(米田すずかけ台)	3.3	0.1	3.7%
H23	向新庄処理区分(藤木新町)	1.9	0.5	26.1%
H23	月岡処理区分(月見町)	6.3	0.1	1.6%
H24	水橋第1処理区分(水橋中新町)	3.7	0.0	0.7%
H24	富屋処理区分(千成町)	2.2	0.2	10.3%
H24.25	いたち川第3処理区分	60.4	3.0	5.0%
H25	向新庄処理区分(藤の木園町)	2.3	0.1	4.3%
H26	富屋処理区分(上富屋新町)	1.5	0.1	6.7%
H26	不二坂処理区分(向陽台)	1.5	0.3	21.0%
H26.27	いたち川第2処理区分	54.7	9.3	16.9%
H27	水橋第2処理区分(水橋東部)	4.3	1.3	30.2%
H28	いたち川第4処理区分	12.0	1.1	9.5%
H28	高層処理区分(緑田)	1.6	0.3	19.6%
H28	岩淵処理区分	4.8	0.2	5.0%
H28	豊田処理区分	40.0	3.8	9.4%
H29	豊田処理区分	33.7	2.7	8.0%
H29	向新庄処理区分(藤の木台)	2.8	0.5	17.9%
H29	浜島崎処理区分	24.4	2.9	11.7%
H30	松川処理区分	50.0	計画未策定	-
	調査済み延長合計	322.6	-	-
	計画策定済み延長合計	272.6	32.8	12.0%

工事

処理区分及び団地	H29まで施工済延長(km)	H30施工済延長(km)	H31施工予定延長(km)
浜島崎処理区分(田畑新町)	0.8	-	-
熊野処理区分(若竹町)	5.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋花の井町)	1.7	-	-
豊田処理区分(米田すずかけ台)	0.1	-	-
向新庄処理区分(藤木新町)	0.5	-	-
月岡処理区分(月見町)	0.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋中新町)	0.0	-	-
富屋処理区分(千成町)	1.4	1.6	-
いたち川第3処理区分	0.1	-	-
向新庄処理区分(藤の木園町)	0.3	-	-
いたち川第2処理区分	0.1	3.0	2.5
水橋第2処理区分(水橋東部)	0.3	0.4	0.6
いたち川第4処理区分	-	0.6	0.5
富屋処理区分(上富屋新町)	-	0.3	-
岩淵処理区分	-	0.2	-
豊田処理区分	-	1.1	0.7
向新庄処理区分(藤の木台)	-	-	0.5
浜島崎処理区分	-	-	1.4
計	10.5	7.2	6.2

富山市公共下水道施工予定箇所図

(汚 水)



管渠新設 (特環)
浜黒崎処理分区 那智町地区 (φ200) L=200m

地震対策
駅前幹線 管更生 (φ900) L=370m、管口耐震化 N=11箇所
第一次緊急確保路線 管口耐震化 N=70箇所

管渠新設 (流公)
布設要望 L=300m

管渠新設 (流特)
布設要望 L=300m

管渠改築
浜黒崎処理分区 古志町一丁目地区 (φ200) L=1,400m

管渠改築
水橋第二処理分区 水橋市江地区 (φ200) L=600m

管渠改築
豊田処理分区 中田一丁目地区 (φ250) L=670m

管渠改築
いたち川第四処理分区 城北町地区 (φ250~350) L=560m

管渠改築
向新庄処理分区 藤の木台地区 (φ250) L=500m

管渠改築
いたち川第二処理分区 大泉町一丁目地区 (φ250~700) L=2,470m

管渠新設 (特環)
月岡処理分区 上千俵地区 (PEφ200) L=700m

管渠新設 (公共)
布設要望 L=300m

管渠新設 (特環)
布設要望 L=300m
整備困難 L=300m

凡	例
公共下水道	平成29年度工事箇所
	平成30年度工事箇所
	平成31年度工事箇所
	平成32年度工事箇所
	平成33年度工事箇所
多	地理区境界
市	市界区域
	市界区域
	市界区域
	市界区域
	市界区域

I 公共下水道(汚水)の整備

(2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費	1,283,200 千円
(うち補助事業)	990,200 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の普及率を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

平成31年度事業の概要

(ア)下水処理場の改築

① 浜黒崎浄化センター

78,000 千円

- ・No.2井戸ポンプ電気設備改築工事
- ・汚泥処理施設ストックマネジメント計画策定業務
- ・汚泥処理施設実施設計業務

② 大山下水処理場

225,200 千円

- ・受変電・自家発電設備改築工事(継続 H30～H31:2年目)
継続事業費 (単位:千円)

	H30年度	H31年度	合計
事業費	24,000	161,200	185,200

- ・汚泥貯留装置外機械設備改築工事
- ・大山下水処理場外ストックマネジメント計画作成(調査)業務

③ 神通川左岸流域下水道建設負担金

285,000 千円

- ・神通川左岸浄化センター水処理施設増設

(イ)ポンプ場の改築

695,000 千円

① 岩瀬汚水中継ポンプ場

・沈砂池・汚水ポンプ設備改築(その2)工事(継続 H30～H31:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	H30年度	H31年度	合計
事業費	60,000	310,000	370,000

・沈砂池・汚水ポンプ設備改築(その3)工事(継続 H31～H32:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

	H31年度	H32年度	合計
事業費	46,000	109,000	155,000

・受変電・自家発電設備改築工事(継続 H31～H32:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

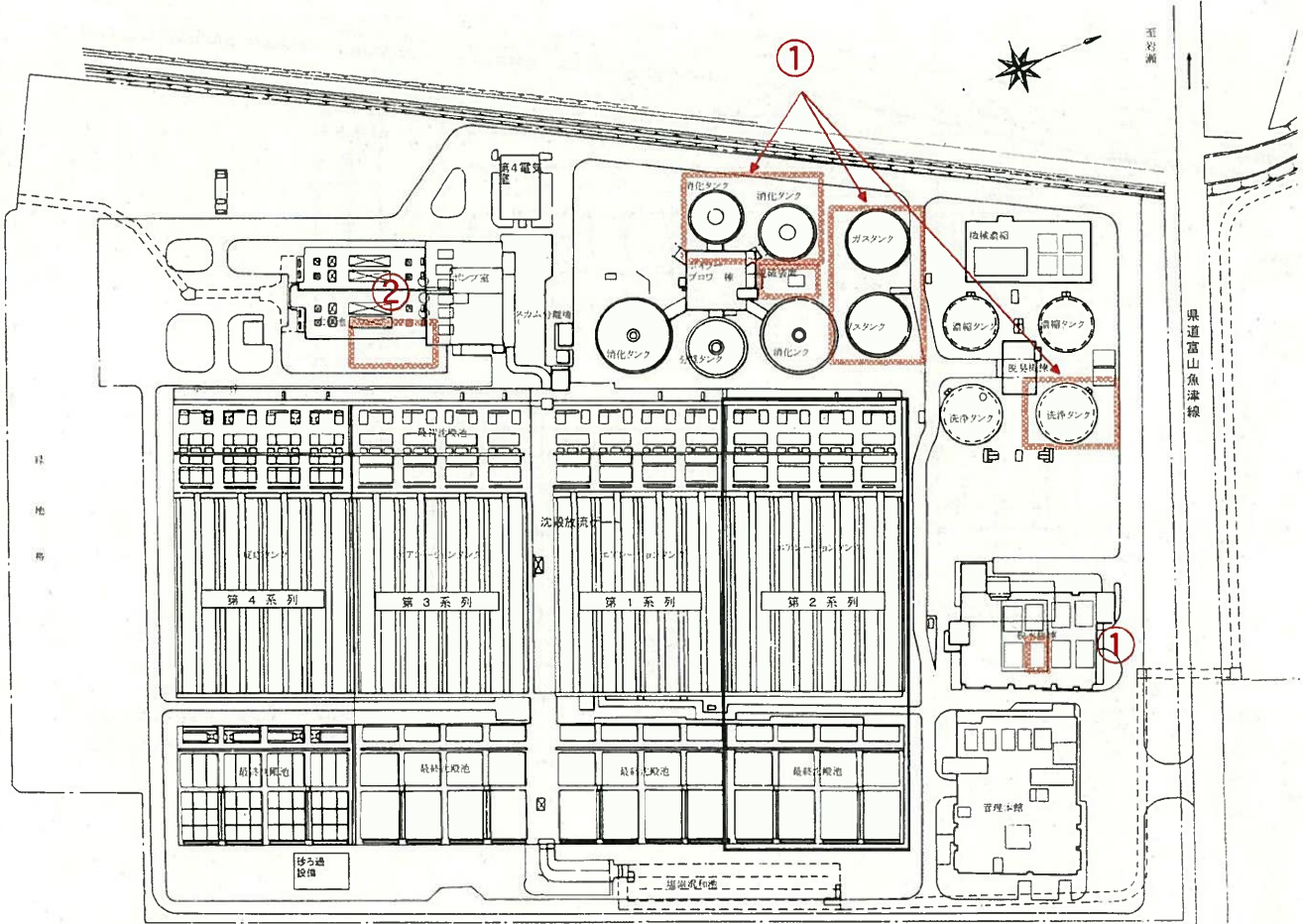
	H31年度	H32年度	合計
事業費	297,000	321,000	618,000

・沈砂池防食(その2)、建築仕上・付帯設備改築工事(継続 H31～H33:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

	H31年度	H32年度	H33年度	合計
事業費	17,000	123,000	80,000	220,000

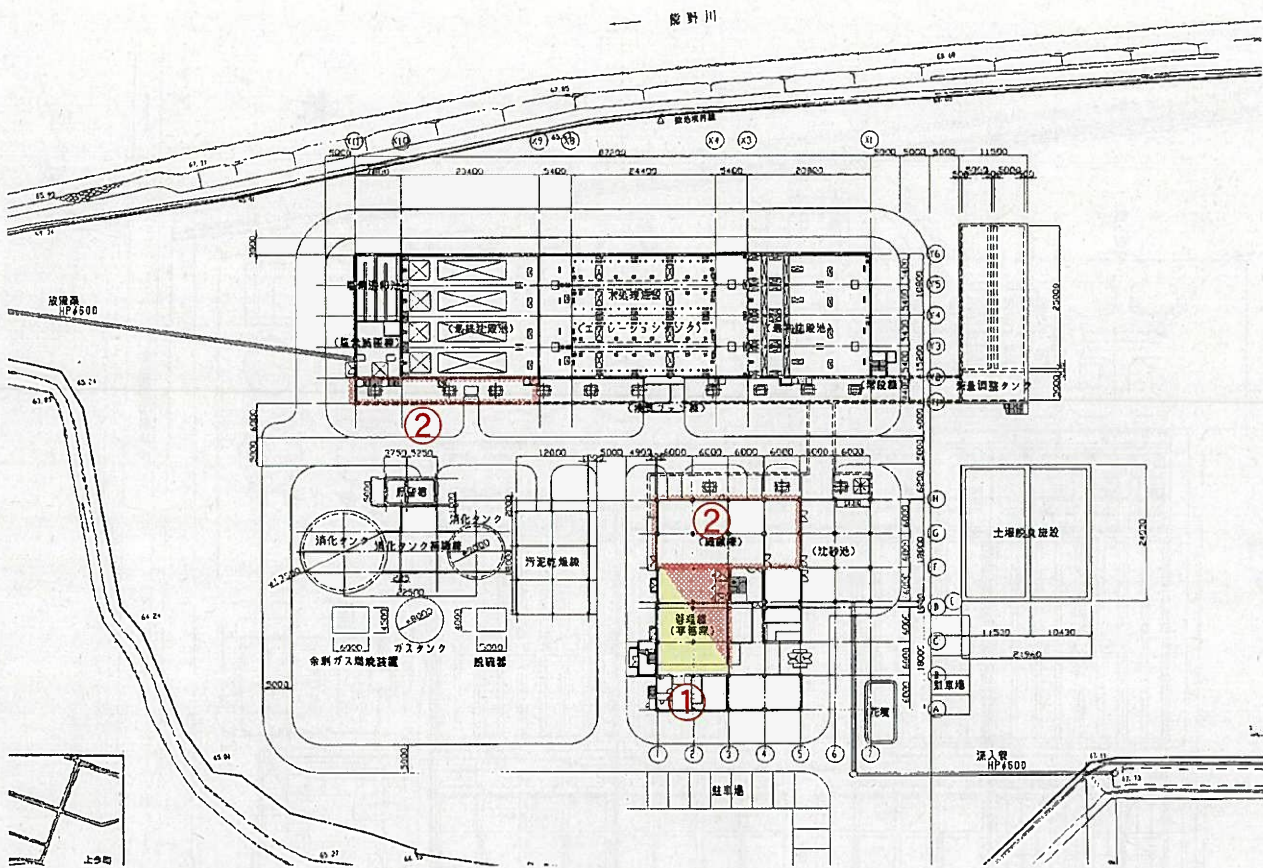
浜黒崎浄化センター計画図



- 資源循環・水質保全
- ① 汚泥処理施設ストックマネジメント計画策定業務委託
 - ② No2井戸ポンプ電気設備改築工事

凡 例	
	平成29年度施工予定箇所
	平成30年度施工予定箇所
	平成31年度施工予定箇所
	平成32年度施工予定箇所
	平成33年度以降施工予定箇所






大山下水処理場計画図



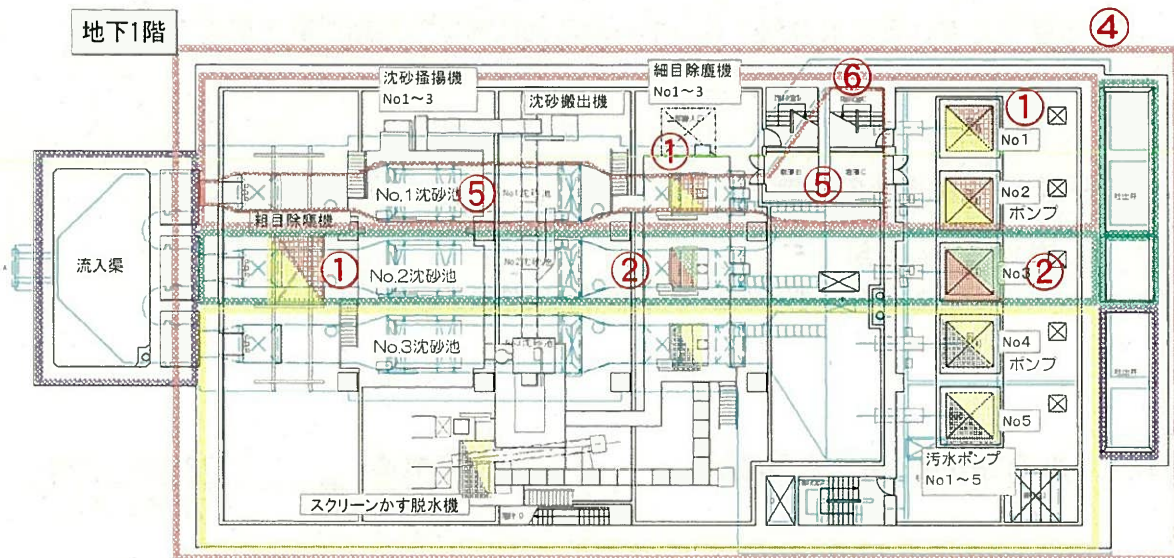
□水質保全

- ① 受変電・自家発電設備改築工事 (H30.31継続)
- ② 汚泥貯留装置外機械設備改築工事

凡 例

	平成29年度施工予定箇所
	平成30年度施工予定箇所
	平成31年度施工予定箇所
	平成32年度施工予定箇所
	平成33年度以降施工予定箇所

岩瀬汚水中継ポンプ場 計画図



電気設備

③

受変電設備
制御計装用電源設備
自家発電設備

①

②

負荷設備
監視制御設備
計測設備

機械設備工事の範囲に合わせて更新 (H29~H32)

④

建築仕上・付帯設備改築

凡 例	
	平成29年度施工予定箇所
	平成30年度施工予定箇所
	平成31年度施工予定箇所
	平成32年度施工予定箇所
	平成33年度以降施工予定箇所

□資源循環・水質保全

- ① 沈砂池・汚水ポンプ設備改築 (その2) 工事 (H30, 31継続)
- ② 沈砂池・汚水ポンプ設備改築 (その3) 工事 (H31, 32継続)
- ③ 受変電・自家発電設備改築工事 (H31, 32継続)
- ④ 建築仕上・付帯設備改築工事 (H31, 32, 33継続)
- ⑤ 沈砂池防食 (その2) 工事 (H31, 32, 33継続)
- ⑥ 耐震補強 (その2) 工事 (H31, 32, 33継続)

I 公共下水道(汚水)の整備

(3) 資源の循環

事業費	26,000 千円
(うち補助事業)	26,000 千円)

下水管渠を流れる汚水の熱エネルギーの活用に向けた実施設計を進めていきます。

平成31年度事業の概要

(ア)下水熱の活用

- ・いたち川第四処理分区 下水熱導入実施設計業務

(4) 処理場の統廃合と再編

事業費	72,000 千円
(うち補助事業)	72,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、公共下水道や地域し尿処理施設等の施設の統合を進めていきます。

平成31年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・月岡処理分区上千俵町地区管渠築造工事 PEφ200 L=700m
- ・倉垣処理区管渠実施設計業務

(5) 下水道整備困難地区の解消

事業費	438,000 千円
(うち補助事業)	25,000 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

平成31年度事業の概要

(ア)未整備・整備困難地区の解消

- ・浜黒崎処理分区那智町地区管渠築造工事 200m
- ・整備困難地区下水道管布設工事 300m
- ・布設要望地区下水道管布設工事 1,200m

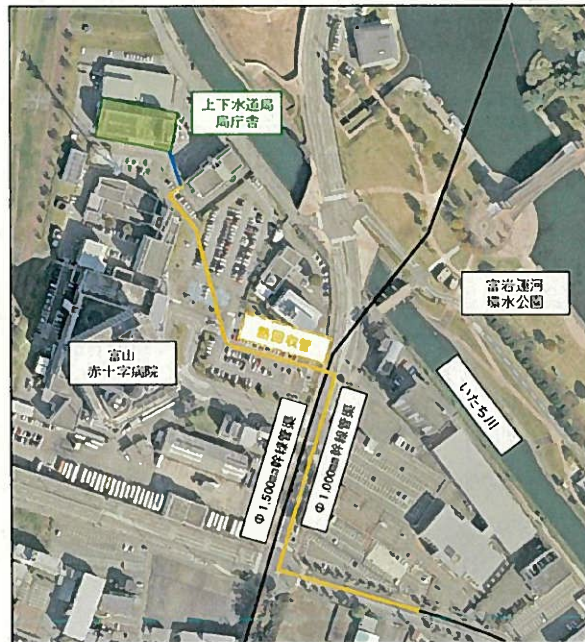
いたち川第四処理分区下水熱導入実施設計業務について

【業務概要】

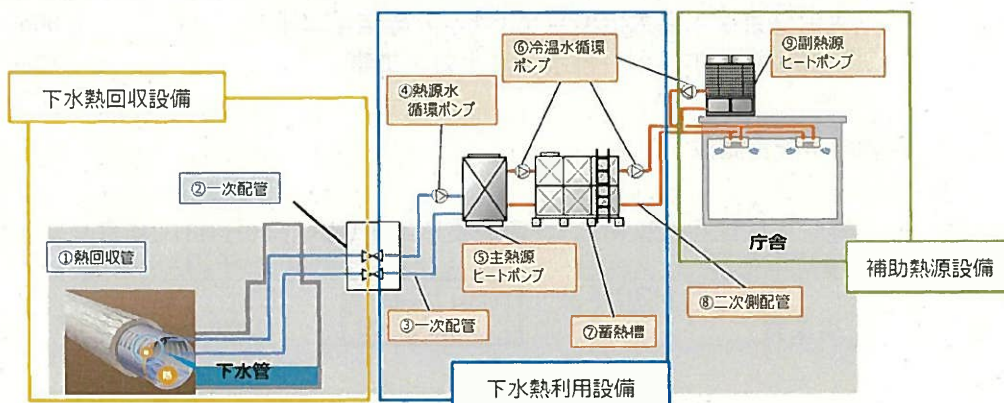
未利用エネルギーである下水熱を上下水道局庁舎における冷暖に有効活用するため、平成28年度より基礎調査等を実施し、事業採算性が確認できたことから、昨年度の基本設計に引続き、実施設計を行うもの。

年度	事業内容
平成28年度	基礎調査（流量、温度、夾雑物調査）
平成29年度	事業採算性検討（システムの概略検討及び選定）
平成30年度	基本設計（機器の詳細な仕様の検討、埋設物調査、概略図面の作成）
平成31年度	実施設計（発注用図面の作成、数量計算書の作成）
平成32年度	工事（下水熱回収設備、下水熱利用設備類）
平成33年度	供用開始

導入位置図



【下水熱利用システムイメージ】



下水熱回収設備	下水熱利用設備	補助熱源設備
社会資本整備総合交付金 (基幹事業) (補助率 1/2)	社会資本整備総合交付金 (効果促進事業) (補助率 1/2)	単独事業費

Ⅱ 公共下水道(雨水)の整備

(1) 雨水幹線の整備

事業費	651,000 千円
(うち補助事業)	556,000 千円)

過去の浸水履歴をもとに、浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

平成31年度事業の概要

(ア)雨水幹線等の整備

	H29年度(実績)	H30年度(見込)	H31年度
管渠施工延長	900m	379m	330m
貯留施設整備数	0箇所	2箇所	1箇所
整備面積	50ha	14ha	15ha
都市浸水対策達成率	76.6%	76.8%	77.0%

(参考)全国の都市浸水対策達成率(平成30年3月31日現在)

全国 都市浸水対策達成率	約58%
-----------------	------

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

①雨水管渠

・下新第一排水区下新川雨水幹線築造工事	30m
・西宮排水区新川雨水幹線築造工事	120m
・大沢野東排水区大沢野東第1雨水幹線築造工事	80m
・牛島本町一丁目第一排水区浸水対策工事	100m

②雨水貯留施設

・経堂排水区長江東町第1貯留池築造工事(継続H30~H31:2年目) V=1200m³
継続事業費 (単位:千円)

	H30年度	H31年度	合計
事業費	80,000	200,000	280,000

II 公共下水道(雨水)の整備

(2) 合流式下水道の改善

事業費	670,000 千円
(うち補助事業)	497,000 千円)

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠等の改築を計画的に実施します。

平成31年度事業の概要

(ア)合流式下水道の改善

① 浸水対策

665,000 千円

	H29年度(実績)	H30年度(見込)	H31年度
浸水対策 工事延長	400m	1,760m	1,150m

松川第二排水区総曲輪地区浸水対策下水管布設工事
松川左岸浸水対策基本計画策定業務
松川処理分区外駅前幹線外水位計設置工事

1,150m

② 水質調査

5,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

余 白

富山市公共下水道施工予定箇所図

(雨水)



雨水管渠
大沢野東排水区
大沢野東第1雨水幹線築造工事
凹4,000×2,500mm L=80m

雨水管渠
西宮排水区
新川雨水幹線築造工事
□2,400×1,300mm L=120m

雨水管渠
下新第一排水区
下新川雨水幹線築造工事
□2,300×1,500mm L=30m

雨水貯留施設
経堂排水区
長江東町第1貯留池築造工事
V=1,200m³

雨水管渠
松川第二排水区
総曲輪地区浸水対策下水管布設工事
φ200~900mm L=1,150m

凡	例
	平成29年度施設工済箇所
	平成30年度施設工済箇所
	平成31年度予算要求箇所
	平成32年度以降施設工予定箇所
	認可区域
	市街化区域
	都市計画区域
	下水道雨水対策対象地域
	排水区域

Ⅲ 危機管理体制の強化

(1) 防災対策の強化(地震対策)

事業費	527,000 千円
(うち補助事業)	527,000 千円)

自然災害や、事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため危機管理体制を整備し、被害の発生防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震診断や耐震化工事を行います。

平成31年度事業の概要

(ア)下水道施設の耐震化	527,000 千円
--------------	------------

・岩瀬汚水中継ポンプ場耐震補強(その2)工事(継続H31～H33:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

	H31年度	H32年度	H33年度	合計
事業費	105,000	60,000	95,000	260,000

- ・松川処理分区駅前幹線管渠耐震化工事 管更生 370m
- ・松川処理分区駅前幹線管口耐震化工事 管口耐震化 11箇所
- ・奥田処理分区外中島一丁目地区外管口耐震化工事 管口耐震化 70箇所
- ・水橋浄化センター耐震診断業務
- ・大山下水処理場管理棟・機械棟耐震実施設計業務
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務、工事

VI その他

1 富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 趣旨

富山市公共下水道事業計画の変更に伴い、予定処理区域面積、計画処理人口及び1日最大処理水量の数値を改正するもの。

(2) 公共下水道事業の予定処理区域面積等

ア 予定処理区域面積

「10,908.1ヘクタール」 → 「10,969.0ヘクタール」

イ 計画処理人口

「389,820人」 → 「385,540人」

ウ 1日最大処理水量

「266,244立方メートル」 → 「263,494立方メートル」

(3) 施行期日 平成31年4月1日

2 富山市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 趣旨

学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令による水道法施行令の一部改正に伴い、改正を行うもの。

(2) 布設工事監督者及び水道技術管理者の要件の見直し

大学等卒業者に、専門職大学の前期課程修了者が含まれる旨を明記する。

(3) 関係法令

政令 水道法施行令（昭和32年政令第336号）

(4) 施行期日 平成31年4月1日